

## 「オープンとくしま・パブリックコメント」の実施結果について

- 1 計画の名称 徳島県企業局経営計画（案）
- 2 募集期間 平成28年12月12日（月）から平成29年1月11日（水）まで
- 3 実施結果
  - (1) 意見提出者数 4名
  - (2) 意見提出件数 7件
  - (3) 意見の内訳 次のとおり

No.	ご意見の趣旨	ご意見に対する県企業局の考え方
1	○徳島県企業局に大手総合商社のマーケティング及びマネジメントの経営手法を導入する。	利用者ニーズの把握や経営環境の変化への対応は重要と考えております。このため、計画の中でも駐車場利用者や工業用水受水企業へのアンケート調査の実施や企画力・経営力強化のための人材育成に取り組むこととしております。
2	○徳島県企業局がトヨタ自動車グループの経営手法（かんばん方式、ジャストインタイム等）を導入する。	民間の経営感覚を活かし、計画的かつ効率的な経営を進めていくことは重要と考えており、計画の中でも効率的な業務遂行のために、状況に応じて、適宜、業務改善を行うこととしております。
3	○徳島県企業局が会計監査法人に経営戦略の企画立案、組織開発及び組織改革、システムコンサルティングなど、経営全般に渉る相談又は助言を求める。	計画策定及び推進に当たっては、民間の経営感覚を活かし、計画的かつ効率的な経営を進めていくため、民間企業経営者や公認会計士からなる外部委員からの意見、助言をいただきながら事業運営に活かしているところであり、今後も継続したいと考えております。

No.	ご意見の趣旨	ご意見に対する県企業局の考え方
4	○徳島県企業局が五年間の有期労働契約で専門的技術や専門的知識を有する「技術士」（機械部門・電気電子部門・建設部門・上下水道部門）を雇用する。	企業局の主要事業である電気事業と工業用水道事業の運営には、専門的知識や高い技術力が必要であるため、電気・機械の技術職員を採用し、入庁後も技術力向上のため、職員研修において、電気主任技術者等の計画的な資格取得、実務を通じたOJT及び新技術や先進事例に関する講習会への参加などによるスキルアップに努めております。
5	○パリ協定が批准された中、CO2排出削減のために、自然エネルギー分野で徳島県企業局が持つノウハウと技術力を活かした取組が必要ではないか。	事業運営を通じて培ってきた企業局の持つ技術、知識や経営手法を最大限活用して小水力発電などの自然エネルギー導入に先導的に取り組むとともに、水素社会への対応を推進して参りたいと考えています。
6	○藍場町地下駐車場を時々利用するが、古い施設との印象が否めない。阿波踊り等では県外客利用も多いと思うので、更なる利便性向上対策を進めてほしい。	藍場町地下駐車場については、計画的に老朽化対策に取り組むとともに、トイレ改修や照明設備の取替などの利便性向上対策を合わせて実施する計画としております。
7	○自然エネルギーの普及啓発のために、川口ダム自然エネルギーミュージアムを活用した取組を進めてもらいたい。	川口ダム自然エネルギーミュージアムの活用について、教育委員会等との連携や出前講座の充実のほか、展示物、コンテンツの追加・更新を行うことで「飽きさせない工夫」に取り組んで参りたいと考えています。